

和歌山県言語聴覚士会

News Letter 第38号

VOL. 38 2020年3月

| | | | |
|--------------|---|---------------|---|
| 挨拶 | 1 | 新入・退会・異動等会員情報 | 4 |
| 各局活動報告 | 2 | 議事録要約 | 5 |
| STの仕事って楽しい!? | 3 | 年会費納入のお知らせ | 7 |
| 本の紹介 | 4 | 編集後記 | 8 |

挨拶

副会長 紀南病院 古久保 良

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年の冬は暖冬のように1月でも例年の3月並みの気温になっています。気温が高く雨が多いのでインフルエンザも少ないかと思いきや、周りではインフルエンザで休む方が多く感じられます。また、新型コロナウイルスの脅威もあり新年から慌ただしいように感じます。

昨年、日本言語聴覚士協会の代議員選挙がありました。和歌山からは天野先生が立候補され皆様の応援のおかげで見事当選することができました。投票していただいた皆様ありがとうございました。それに続き、2020年は和歌山県言語聴覚士会の理事選挙の年です。20代、30代の若い世代の方も理事選挙に立候補いただき新しい風を入れて頂ければと思っています。ご協力よろしくお願ひします。

さて、今回はJRATの紹介をさせていただきます。JRAT (Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team) とは、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会のことです。2011年の東日本大震災をきっかけに設立されました。理念としては、各地域において地域住民と共に災害に立ち向かえるように災害リハビリテーション支援チームを発足させる。また大規模災害発生時には災害弱者、新たな障害者、あるいは被災高齢者などが発症しうる生活不活発病の予防に対する適切な対応をとる。そして国民が災害を乗り越え、自立生活を再建、復興を目指していけるように安心・安全且つ、良質なリハビリテーション支援を受けられる制度や体制の確立を促進することとしています。和歌山県は2019年11月23日にJRAT発足式典を行い、和歌山JRATとして活動することとなりました。現在は、和歌山県と協定を結ぶ準備をしたり、啓蒙活動として年2回の研修会を行ったりしています。30年以内に起こるとされている南海トラフ地震に備え、JRAT活動を進めています。興味のある方は研修会に参加していただきJRATの一員として活動していただければと思います。よろしくお願ひします。

各局活動報告

学術局 桜ヶ丘病院 水田 達也

＜令和元年度 和歌山県失語症者向け意思疎通支援者養成研修＞

今年度から和歌山県に於いても失語症者向け意思疎通支援者の養成が 2019 年 7 月から始まり、9 回の研修を経て、令和 2 年 1 月 18 日に第 1 期生として 10 名が研修を修了しました。これも実習先として御協力いただいた和歌山県失語症友の会 紀の国会様、紀の国会の活動を支えられている言語聴覚士の皆様、1 年前から準備し、運営されてきた会員の皆様の御尽力のおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。養成研修を修了された方は数年後には地域で生活されている失語症者のもとへ派遣され、外出時の意思疎通のサポートを行うこととなります。国が目指す地域共生社会において、失語症というハンディキャップを抱えていても社会に参加するには意思疎通支援者が必要になります。この事業や、失語症友の会の活動に多くの会員が興味を持っていただけたら幸いです。



＜第 1 回和歌山県言語聴覚士会県民公開講座＞

地域包括ケアシステム推進局の新たな試みとして、県民の方へ言語聴覚士と言語障害のことを広く知って頂くため、県民公開講座を 2019 年 12 月 1 日に和歌山市で開催しました。第 1 回目は今年度から失語症者向け意思疎通支援者養成研修が始まったこともあり、「もっと知ろう！失語症のこと」をテーマに和歌山県立医科大学 リハビリテーション講座 講師 梅本安則先生、角谷リハビリテーション病院 板倉登志子先生からそれぞれの立場で御講演して頂きました。当日は一般の方が 17 名も参加して頂き、少しでも失語症について知って頂く機会になったかと思えます。また、後援を頂いた失語症友の会 紀の国会様からも参加があり、これまで以上に職能団体として地域で生活される言語障害の方の力になればと考えています。今後、定期的に県民公開講座を開催し、発信していく機会を設けていく予定です。開催テーマで要望がありましたら、ご連絡ください。

<令和2年度和歌山県言語聴覚士会 学術集会>

今年で和歌山県言語聴覚士会は設立20年を迎えます。それを記念するとともに、会員の皆様にとって実りある研修ができるよう新たな試みとして、次年度総会の際に学術集会を開催する運びとなりました。県外の学会で発表することに不安を抱えている若手の会員、勤務先での取り組みについて相談したい会員など様々な状況があると思いますので、「若手ST」「成人領域」「小児領域」のセッションに分けて行います。皆様の多くの御参加をお待ちしております。

STの仕事って楽しい!?

このコーナーでは、会員が日常の中で『STの仕事って楽しい』と思う事についてエッセイを掲載しています。

海南市恵友病院 田浦 麻衣

海南市恵友病院の田浦麻衣です。昨年結婚し、プライベート・仕事ともに充実した毎日を送っています。そんな私も言語聴覚士になり3年が経とうとしています。正直、今でも仕事を楽しいと思えるほどの余裕はありませんが、日々やりがいを感じています。最近私が特にやりがいを感じる事が出来たケースを2例紹介させていただきます。1例目は、経口摂食は困難と判断され、ターミナル目的で転院してきた患者様が徐々に全身状態改善し経口から十分な栄養量を摂取できるまで回復したケースです。そして2例目は、脳梗塞後に高次脳機能障害が残り自宅への復帰が困難と言われていた方が、周囲の理解・協力を得ることができ自宅に帰れたケースです。これらのように自分が関わらせていただいた患者様が回復していく様子を見るほど嬉しいことはありません。もちろん上手くいくことばかりではありませんし、まだまだ未熟な為後悔することがたくさんあります。ですが、患者様にとって自分が関わることで少しでもプラスになるよう、これからもたくさん学び経験し成長していきたいと思えます。



本 紹 介

本紹介をリレー方式で行っています。自分が読んでみて「おもしろかった!」「参考になった」など感じた本をご紹介いただいています♪

南紀医療福祉センター 井戸上 翼

題 名 : ONE PIECE(ワンピース)

著 者 : 尾田 栄一郎

出版社 : 集英社

ワンピースは、ルフィを主人公としてその仲間達と「ひとつなぎの大秘宝 (ワンピース)」を目指して冒険をする話です。ルフィの家族構成は複雑であり、その仲間達にも様々な過去があります。仲間同士で衝突する事も多い中でお互いを信じあい、強敵を打ち破っていく所は感動させられる事が多いです。大秘宝が何であるのかは、まだ読者にも知らされておらずどの様な結末になるのかわくわくさせられます。物語の中で特に印象に残っている場面は、ルフィは兄のエースを救う為に自分の命を惜しまずに、自分より強い相手に果敢に挑戦する場面です。自分の信念を貫く姿は、刺激を受ける読者も多いと思います。現在は、単行本で 90 巻を超えています。日曜日にアニメも放送されています。また、映画も出されておりワンピースを詳しく知らない方でも楽しめます。映画やアニメを見て、興味を持たれた方はぜひ本に手を伸ばしてみてくださいはいかがでしょうか。

※次回は南紀医療福祉センターの竹本共子先生にお願いしています。

新入・異動・退会等会員情報

(令和 2 年 2 月現在)

<新入>

無し

<異動>

無し

<退会>

無し

現在の会員数

正 会 員 : 163 名

学生会員 : 0 名

賛助会員 : 2 名 1 団体

※氏名、職場、自宅など連絡先に変更がある場合は、必ず事務局までお知らせください。

郵便物が届かなくなる恐れがあります。

事務局 : 琴の浦リハビリテーションセンター 言語療法室内

TEL : 073-481-4522

FAX : 073-444-9792

Mail:wakayama_st_jimu@yahoo.co.jp

議 事 録 要 約

令和2年度第6回理事会

開催日：令和2年2月28日（金）

場 所：メール会議（コロナウイルスのため）

<報告事項>

○山崎会長

- ①令和2年1月18日 失語症者向け意思疎通支援者養成研修会 修了式出席。
- ②和歌山県保健衛生医事功労者知事感謝状授賞式出席（アバローム紀の国）
- ③わかやまヘルスケア産業革新プラットフォーム2周年セミナー出席。
（アバローム紀の国）セミナーは中谷病院の中家実乃里会員に務めて頂いた。

○天野副会長

12月24日 日本言語聴覚士協会代議員選挙当選通知受理。

○古久保副会長

- ①令和2年1月19日、メルパルク京都でJRAT近畿ブロック会議に参加。
近畿の各府県からJRAT活動の報告があり、和歌山は県との協定に向けて交渉中。
- ②令和2年2月15日のJRAT研修会は、コロナウイルス拡散防止のため中止。
- ③和歌山県の災害リハ活動で、STは北部、中部、南部に支部化。

○事務局 岩本理事

- ①2020年度組織図案作成。
- ②会員専用テストページ作成。

○社会局 静理事

- ①令和2年1月11日 令和元年度病院協会新春研修会出席。
- ②令和2年2月21日 第25回和歌山県病院協会術大会企画運営委員会（第1回）出席。
- ③「第5回みんなの健康フェア」は中止。

○学術局 水田理事

コロナウイルス流行等により予定していた勉強会は延期。

○地域包括ケアシステム推進局 水田理事

1. 地域リハビリテーション活動支援事業

- ①和歌山市自立支援型地域ケア会議、WAKAYAMA つれもて健康体操。
- ②コロナウイルス流行に伴い、2月開催分から中止。
- ③ボランティア養成講座(PT 協会企画運営)
- ④令和2年2月7日 ST パート「コミュニケーションと地域づくり」へ派遣 (水田)
- ⑤令和元年度和歌山県訪問リハビリテーション実務者研修会 (水田・前島)

2. 地域生活支援事業について

- ①今年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修終了。
- ②失語症サロンの視察を行う予定 (兵庫)。
- ③第1回県民公開講座参加者 一般 16名。

○財務局 中武理事

年会費未納者に対し、督促状を送付。

○広報局 土井理事

- ①12月18日 ニュースレター36号をホームページへ掲載。
- ②ニュースレター第37号を作成中、3月中旬にホームページへアップ予定。

年会費納入のお知らせ

財務局 愛徳医療福祉センター 中武 夕真

いつも当会へ格別のご理解いただきありがとうございます。2020年度の会費納入についてご案内いたします。

昨年度自動払い込みをお申し込みいただきました方に関しましては**5月29日**に引き落とし予定となっております。**自動払い込みの方は年会費7000円と振り込み手数料54円**をゆうちょ銀行口座にご用意いただけますよう
よろしくお願い致します。

自動払い込みをお申し込みでない方は自動払い込みの申し込みを最寄りの郵便局でしていただくか、下記口座
までお振り込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

振込の際は、会員番号をご記入ください。

また、2019年度の会費納入がまだお済みでない方は速やかに納入いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

1.年会費

| | | | |
|-----------|-------|------|--------|
| 正会員 | 7000円 | 学生会員 | 2000円 |
| 賛助会員 個人1口 | 5000円 | 法人1口 | 10000円 |

2.振込先

【ゆうちょ銀行もしくは郵便局で手続きする場合はこちら】

ゆうちょ銀行

郵便振替:00990-3-114417

加入者名:一般社団法人和歌山県言語聴覚士会

【別の銀行等の金融機関から、ゆうちょ口座へ振込する場合はこちら】

銀行名:ゆうちょ銀行

種類:当座 ※口座種類は「当座預金」です

店名:〇九九 店 (ゼロキユウキユウ店)

口座番号:0114417

口座名義:シャ)ワカヤマケンゲンゴチョウカクシカイ

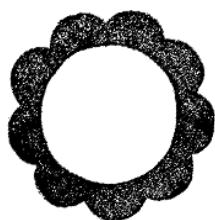
3.納入期間

2020年4月1日から5月29日

〔編集後記〕

今回も寄稿くださいました会員の皆様、お忙しい所ご協力頂きありがとうございました。ご意見・ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。本年より世界中で猛威を振るっております新型コロナウイルスに対して、政府は不要不急の外出は控えるよう呼びかけ、各地で行事やイベントの中止・延期が発表されております。会員の皆様におかれましても、感染予防に努めお身体ご自愛頂きますよう心より願っております。

(白浜はまゆう病院 広報局員一同)



発行：和歌山県言語聴覚士会

会長 山崎 良一

事務局：社会福祉法人

琴の浦リハビリテーションセンター

〒640-0014 和歌山市毛見 1451

TEL：073-444-3141

編集：広報局

(公財)白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1447 番地

TEL：0739-43-6200

FAX：0739-43-7891